

うぶやさわ
産屋沢渓流保全工竣工式を開催

松本砂防事務所

日時：平成29年5月20日（土）10:00～11:00
場所：長野県松本市安曇上高地地先
出席者：務台俊介 衆議院議員、太田寛 長野県副知事
牛越徹 大町市長、坪田明男 松本市副市長
ほか 合計33名

平成23年6月23日の豪雨時に上高地の産屋沢において土石流が発生した。平成23年9月より渓流保全工に着手し、この度、対策工事が完了したことから、平成29年5月20日に竣工式を実施した。



平成23年6月23日産屋沢土石流の様子



むたいしゅんすけ
■務台俊介衆議院議員 祝辞
○立派な施設を早期に建設いただき関係者に感謝したい。国民の安心安全のため、これからも砂防事業の必要性を訴えてまいりたい。



あべしゅいち
■阿部守一長野県知事 祝辞
(代理 太田寛 副知事)
○本格的な観光シーズンを迎えるにあたり、施設が完成し、観光客を安全に迎えることができるようになって感謝している。



すげのやあきら
■菅谷昭 松本市長 祝辞
(代理 坪田明男 副市長)
○関係機関が連携して災害対応にあたった。上高地トンネルと産屋沢渓流保全工の完成により、安全が確保されるようになった。



栗原砂防計画課長 挨拶



五十嵐事務所長 事業報告



上高地町会長 上條敏昭氏 祝辞



土石流発生時に現場対応を行った方々からの状況報告



平成23年6月23日 産屋沢土石流災害と緊急対応

- 産屋沢は霞沢岳を水源とし、河床勾配が源流部で1/1.5、下流部で1/5と非常に急峻な沢で、上流には崩壊地を抱え河道内には巨礫を含む大量の土砂が堆積していることから、土石流が度々発生。
- 平成23年6月23日の豪雨時に土石流が発生し、上高地への唯一のアクセス路である県道上高地公園線が寸断され、上高地内に観光客ら約1,200名が孤立。
- 土石流発生時に現場にいた事務所職員が土石流発生の際を捉え、道路管理者を促し県道上高地公園線を通行止にすると共に、現地でも一般車両やバスの通行を制止し、土石流による人命被害を間一髪で回避。また、上高地内の観光客等約1,200名に土石流災害の状況を伝え、二次被害を防止。



職員が土石流の兆候を捉え的確に対応

平成23年6月23日13:25

橋を渡ろうとする車両を制止



土石流災害の状況を上高地の各関係者へ通報

土石流災害の状況を伝え待機を促す



被害防止のため、さらなる手を打つ



約1,200名の観光客等は一晚待機翌日
徒歩で無事下山

産屋沢土石流災害を受け砂防施設を整備

平成21年度 産屋沢砂防計画及び施設配置計画検討

平成23年6月23日産屋沢土石流災害が発生

平成23年6月24日 応急対策工事着手

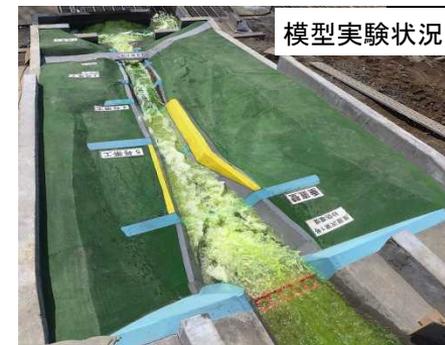
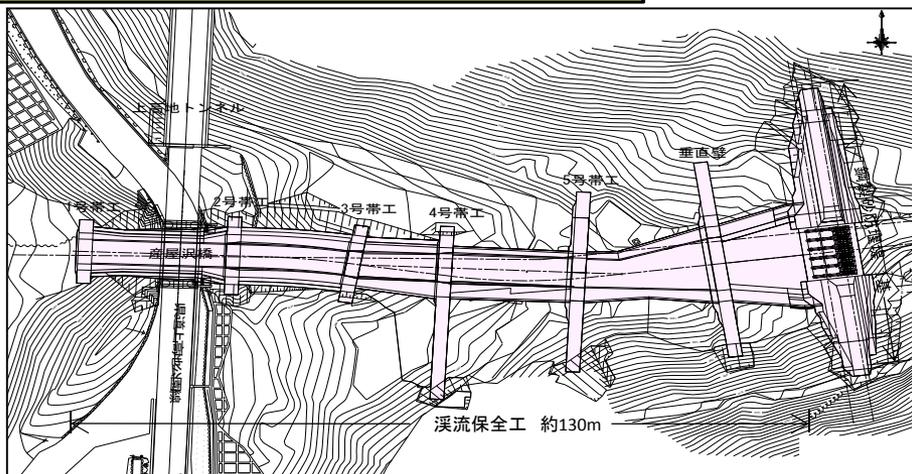
応急対策工事として布製型枠工法による溪流保全工と鋼製牛柵を設置。

平成23年9月 溪流保全工工事着手

平成26年度 模型実験の実施

工事の施工に伴い、河床内礫径など当初の条件との違いが判明したため、設計諸元の見直しと併せて水理模型実験と修正設計を実施。

平成29年5月 産屋沢溪流保全工竣工



- ◆鋼製砂防堰堤
堤長 約80m
堤高 14.5m
本堤、垂直壁
- ◆溪流保全工
延長 約130m
帯工5基、護岸工



上高地の景観を配慮し、
自然石連結工法を実施

「アンカービオストーン工法」
自然石にアンカーを打ち込み、
連結シャフトを取り付け、シャ
フト先端の離脱防止金具と背面
金網を締結して、自然石+胴込材
+背面金網を一体化する耐久性、
耐震性に優れた自然石連結工法。

